

大阪運輸 シュタイナート選別機で廃プラ再資源化



「ユニソートフィルム」(左)と「ユニソートフィルムブラック」(右)



黒色の異物も回収する「ユニソートフィルムブラック」



BRT HARTNER製 定量供給機

将来的には同様のスキームで国内外へ拠点展開することも視野に入れている。同社は物流事業を母体とする強みを活かしながら、マテリアルリサイクルの可能性を最大限に開拓していく。

西谷雅史業務部次長は「軟質プラスチックを浮かせてしまつことなく高精度で選別できることがこの機械の強み」と手応えを話す。プラントの「す」と力を込める。

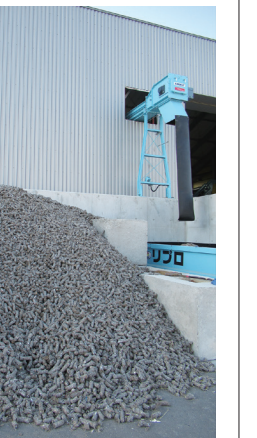
「リプロ南大阪リサイクルセンター」は泉大津市から大阪湾に面した3000坪の敷地に、高度設備で構成する最新鋭の選別プラントを構えた再資源化施設だ。プラスチックに特化したリサイクルセンターとして昨年12月から段階的に受け入れを行い、今年1月から本格稼働を開始した。

選別プラントの中心には、シュタイナート製の光学選別機2台が連結して備わる。いずれもNIR(近赤外線センサー)を搭載し、プラスチックの素材選別を自動で行う。「ユニソートフィルム」はフィルムなどの軽量物を回収する選別機。「ユニソートフィルムブラック」はそれに加えて

しながら選別精度を保つことも同機の特長。現在、日本市場で同タイプの選別機を販売するのは、シュタイナートの代理店であるサナースだけだ。同センターを統括する西谷雅史業務部次長は「中間処理業者が処理できない廃棄物や、物流関係のリサイクルを一手に担う『オンラインワンのプラント』を目指す」と力を込める。

物流業務を扱う中で発生する廃プラスチックは、中間処理業者を介して埋立て処分となる事例が大半だった。資源循環への取り組みが社会的に広がる中、グループ内で培ってきた環境事業をさらに拡大させるべく、廃プラの再資源化に乗り出した。

プラントでは、粗選別した混合廃棄物を破碎機にかけ、粒度を調整する。それを定量供給機に通した後、2台を連結させた光学選別機に投入。高精度のセンサー選別によって、主にPVC(ポリ塩化ビニル)と非鉄金属を



月間1,000トンのRPF製造を目標にする

自動で除去する。後工程にはRPFの製造装置を完備しており、高純度に仕上げた軟質プラスチックから固形燃料プラスチックから固形燃料

に地域の中間処理業者だけでなく岐阜や静岡など遠方からの持ち込み依頼が多く寄せられる。全国的に安定型処分場のひっ迫が進む中、都市圏の大阪エリアで混合廃棄物を再資源化できるメリット

「オンラインワンのプラント目指す」マテリアルリサイクル推進

総合港湾物流事業を幅広く展開する大阪運輸(本社：大阪府大阪市住之江区、吉川雄幸社長)は、プラスチックの再資源化拠点「リプロ南大阪リサイクルセンター」を府内の泉大津市に開設した。従来は埋立て処分にまわっていた廃プラスチックを、独シュタイナート製の光学選別機を中心に据えた最新鋭の高度プラントによって固形燃料RPFへ再資源化。物流企業として先駆的に手掛けるマテリアルリサイクルの取り組みを推進し、資源循環の可能性を最大限に開拓する方針だ。



「リプロ南大阪リサイクルセンター」



御池鐵工所製 RPF 製造装置

産業廃棄物処理機器 お気軽に御相談ください

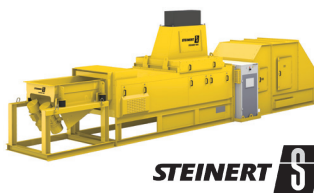
投入



破碎



選別



弊社は産業廃棄物の投入機から選別機まで処理施設で使う製品を豊富に取り揃えております。

千葉県木更津市のテストセンターでは製品のご見学、デモ、材料の選別テストが可能です。

処理施設の設備を見直したい方、お気軽にご相談ください。

* ご相談の際には広告を見たとお伝えください。



輸入総代理店
株式会社サナース

Tel: 045-534-2270
Mail: info@sun-earth.jp

本社：神奈川県横浜市港北区新羽町178
木更津マシンパーク：千葉県木更津市茅野19-1

北海道、東北、関東、関西、中国、四国、九州

www.sun-earth.jp

サナース 選別機

